



荻の里

黒部市立荻生小学校
学校だより13号
令和8年1月28日

目指す子供の姿

やさしく かしこく たくましく
地域を学び、愛する子供

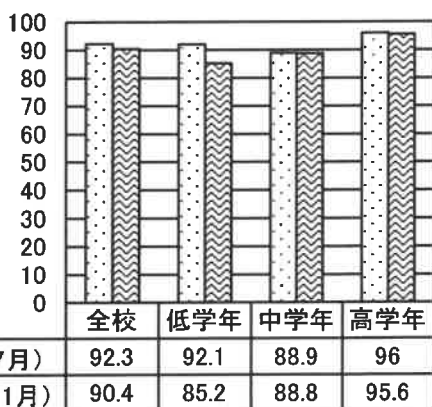
第2回保護者アンケート（第2学期実施）の結果をお知らせします

【保護者アンケート結果と児童自己評価との比較】

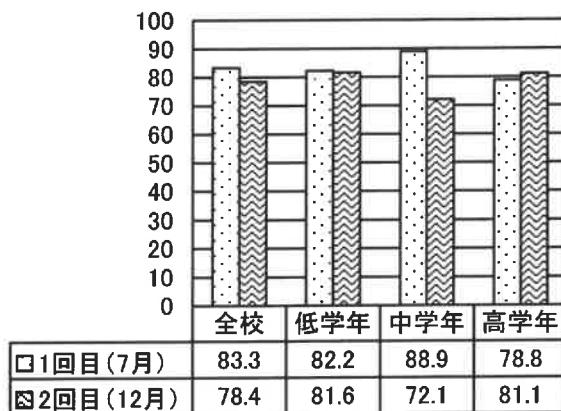
アクションプラン1【徳】やさしく

【児童】 あいさつを3回以上した。【保護者】 挨拶をしている。

児童自己評価



保護者評価



考察・方策

児童自己評価では、約90%の児童が挨拶をしようとする気持ちを持ち、1日3回以上の挨拶をしているものの、その割合は第1学期と比べると約3%減少しました。保護者評価は、高学年では高くなっているものの、全体では78.4%と約5%減少しました。

今年度も児童計画委員会が中心となり、通年の「挨拶ボランティア活動」に取り組んできました。学年の挨拶当番日には、進んで活動に参加し、元気な声で挨拶をする姿が多く見られます。また、保護者・地域の方にもご参加いただいた年2回（6月・10月実施）



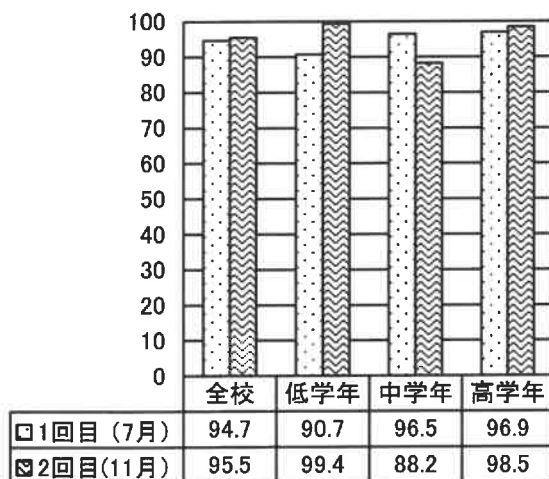
の「さわやか挨拶運動週間」では、子供たちは挨拶を交し合うことのよさをより強く実感していました。一方で、「挨拶当番ではないときに」「校内で」「何度でも」挨拶をすることには、課題が見られます。今後も「自分も」「相手も」「周りの人も」気持ちがよいと思える挨拶の仕方を身に付けられるよう、家庭や地域と連携しながら働きかけていきます。

アクションプラン1【徳】やさしく

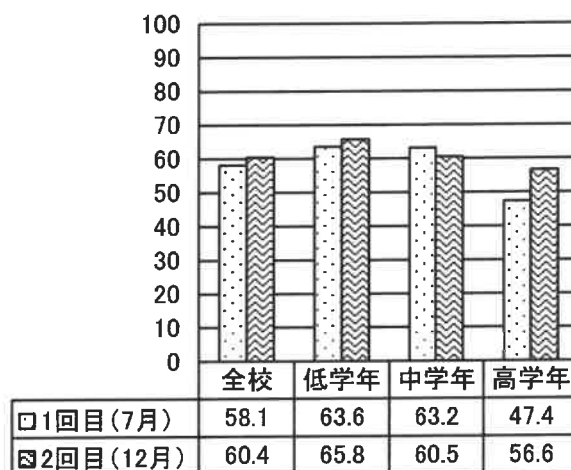
【児童】 ぼかぼか言葉をつかった。

【保護者】 やさしい言葉遣いをしている。

児童自己評価



保護者評価



考察・方策

児童自己評価では、約95%の児童が「ぼかぼか言葉」を使って相手との関わりを築こうとしていることが分かります。学年別に見ると低学年と高学年において、意識の高まりが見られました。また、保護者の評価では、全校で約3%の評価上昇が見られ、子供たちが学校はもちろん家庭でも優しい言葉遣いを意識して生活している様子が伝わりました。

自由記述でも「ぼかぼか言葉の推進によって改めてどのような言葉をつかっているか考える機会になっている」「大切なことなのでこれからも続けてほしい」等、「ぼかぼか言葉」の推進に必要感をもって取り組んでくださっている様子が伺え、嬉しく思いました。



12月に行った全校集会「スマイル人権集会」では、「ぼかぼか言葉」を交し合い、荻っ子班(縦割り班)で仲よく励まし合いながら活動する姿、また、「就学時健診のお手伝い(5年)」「保育所訪問(6年)」では、相手に合わせて優しく声をかけながら関わる姿が見られました。

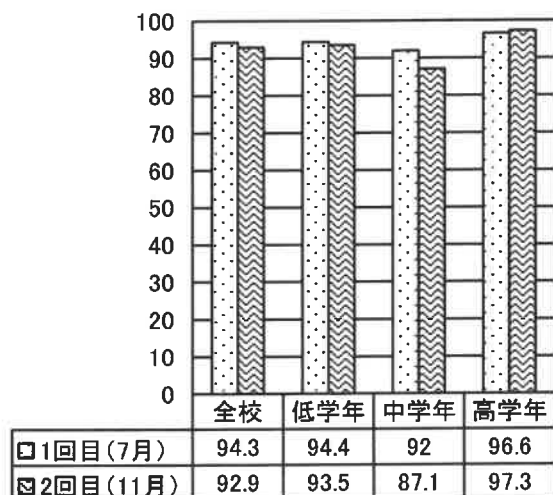
今後も相手や場に応じた適切な言葉遣いを考える機会を大切にしていくとともに、相手への思いやりの気持ちを育む活動を推進していきます。

アクションプラン2【知】かしこく

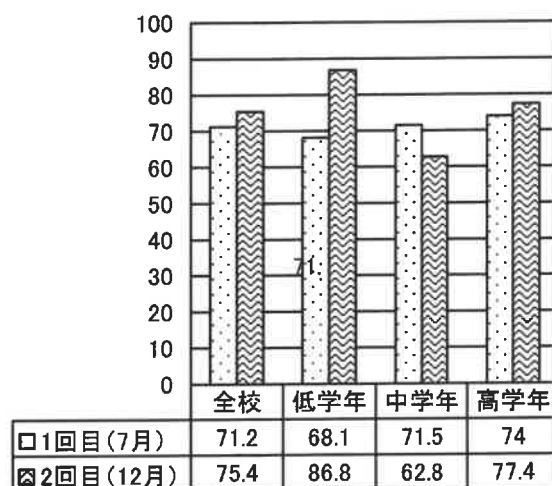
【児童】 学習規律（席に着いた、話が聞けた）を守って学習している。

【保護者】「相手を見て話を静かに聞く」等、学習規律を守って学習している。

児童自己評価



保護者評価



考察・方策

児童自己評価（全体）は、第1学期よりもわずかに下降しました。多くの児童は、時間を意識して席に着いたり、友達の発表に真剣に耳を傾けたりしながら授業に取り組んでいるものの、その一方で「もっと頑張ることができたのではないか」と感じている児童がいる様子が伺えます。保護者評価を見ると、低学年・高学年では評価が上昇しました。日頃の家庭での会話、学習参観の様子等から、子供たちの様子を感じ取られてのものと真摯に受け止めています。学習規律の定着には、日々の積み重ねがとても大切です。落ち着いた学習環境の中で学年相当の規律を身に付け、進級・進学することができるよう、担任を中心に全教員で取り組みを続けていきます。



授業の様子



タブレットの活用

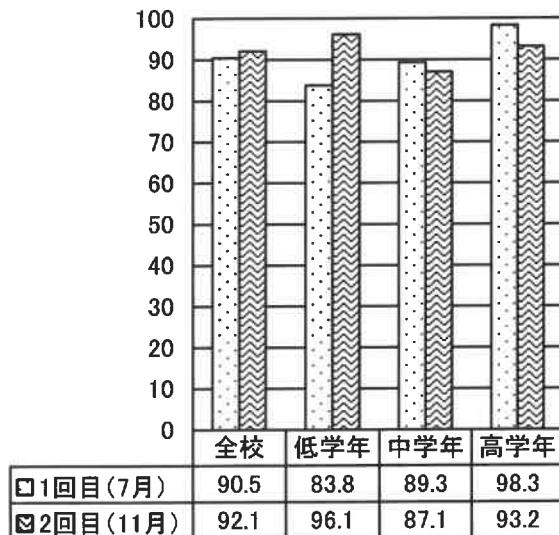
タブレット端末を使用した学習では、扱いに慣れ、学習内容に興味をもって取り組む姿が見られます。自由記述でも「定期的にタブレット端末を使っている課題があることで、扱いにも慣れてきているように感じよいことだと思います」との声がありました。一方で、使用の約束を守ることができず、指導を要する場面も出てきました。今後も個や学年に応じたタブレットの活用を推進するとともに、使い方（全校の約束等）についての指導も継続していきます。

アクションプラン3【体】たくましく

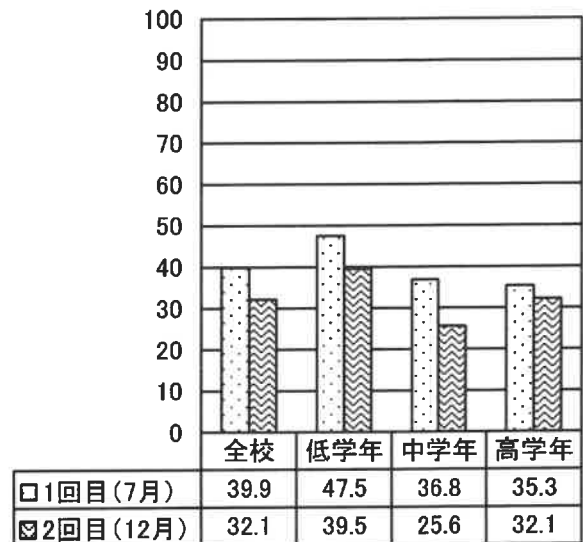
【児 童】 おうちの人と決めたメディアのルールが守れた。

【保護者】 家族で決めたメディアの約束を守り、メディアコントロールに取り組んでいる。

児童自己評価



保護者評価



考察・方策

児童自己評価は、低学年では大きく上昇したものの、中学年・高学年では下降しました。家族で決めたメディアのルールを守ろうと意識して生活し、その様子を丁寧に、正直に振り返った様子が伺えます。

学校では、11月に学校保健委員会並びにPTA教養講座を実施し、東部教育事務所主任生活指導主事轡田真理先生より、「メディアコントロールについて親子で考えよう」をテーマに講演を聴き、メディアとのよりよい付き合い方について考える機会を設けました。振り返りでは「(メディアと離れる時間をつくるために)自分の好きなことを楽しむ時間をつくりたい」「家族でルールを決めて協力してがんばるのもよいと思った。自分のメディアのルールを改めて考えたい」等、自分の生活の仕方を見つめ直す感想が見られました。

保護者評価は、第1学期より下降し、約32.1%と大変厳しいものとなりました。自由記述では、「メディアコントロールがうまくいかない。特に休みの日は守れないことが多い」「がんばり週間以外は、メディアの約束を守ろうという意識が薄れてきたような気がする」等、休日や平時のメディアとの付き合い方に「難しさ」を感じる声が多くありました。

第3学期は、休み時間にタブレット端末から離れ、体を動かして遊ぶ機会の一つとなることを願い、児童体育委員会が中心となって「わんぱくチャレンジ」を大休憩と昼休みに実施しています。今後も家庭と学校が連携し、メディアとのよりよい付き合い方を考える必要性を実感できるような取組や活動を続けていきます。



児童保健委員会の発表

保護者の皆様からの主な自由記述です。現在の学教育活動を見直し、今後に生かしていきたいと思えます。たくさんのご意見をありがとうございました。なお、表記の揺れ（例：出来る⇔できる）については、学校で統一させていただきました。ご了承ください。 ※(低)低学年 (中)中学年 (高)高学年

【徳】やさしく 温かい人間関係づくり

<ほかほか言葉>

- ・自分からおはよう、おやすみの挨拶ができています。優しい言葉がけも増えてきたように思います。(低)
- ・「ありがとう」「大丈夫？」等、優しい言葉が自然に出て、成長を感じている。(中)
- ・友達にも家族にも優しい言葉がけができていますので、このまま優しい気持ちを持ち続けてほしい。(中)
- ・意味を分からず、友達を真似てちくちく言葉を使っていたことがあり、家庭で注意したことがあります。知らず知らずのうちにちくちく言葉で友達を傷付けることがあるかもしれないので心配しています。(低)
- ・友だちに接する態度は優しく、概ねよいと思います。ただ、楽しくて盛り上がりすぎると言葉遣いが荒くなることもあるので、家庭で毎回注意していきたいです。(低)
- ・面白さを優先してしまいがちなので、相手の気持ちに寄り添った言葉がけができるようになってほしい。(中)
- ・成長につれて言葉遣いがきつくなる場面が出てきた。学校内での言葉遣いはどうなのか心配になることがあります。(中)
- ・家庭内での言葉遣いが気になる。(高)
- ・家庭でときどき自分の思うようにならない時にちくちく言葉が出ることもあるので、少しずつ感情をコントロールできるようになってほしい。(高)
- ・ほかほか言葉の推進は、大切なことなのでこれからも続けてほしいです。(低)(高)
- ・ほかほか言葉の推進によって、改めてどんな言葉を使っているか考える機会になっています。(中)
- ・ほかほか言葉を用いて、温かい人間関係を築く基盤をつくれていると思います。(中)
- ・とてもよい取り組みだと感じています。ほかほか言葉やちくちく言葉を使うことで、相手がどんな気持ちになるかを考えて行動できるようになってほしいです。(低)
- ・ほかほか言葉のポスターが教室の見えるところに貼ってあり、それを見るだけで「ほかほか言葉を使う！」という気持ちになるような気がしてよかったです。(高)

<挨拶>

- ・挨拶運動の当番日は、前日から登校時間を早めにするなど本人も意欲的に取り組んでいると思います。(低)
- ・挨拶運動の日、張り切って早く学校へ行きます。(低)(中)
- ・朝に校門に立って挨拶運動をしているのは清々しくてとてもよいと思います。(低)
- ・道ですれ違った時に知らない子なのに挨拶をしてくれて、とても温かい気持ちになった。(低)
- ・挨拶運動の取組もあり、近所の方への挨拶もできるようになってきた。(中)(高)

<異学年交流>

- ・クラブ活動をととても楽しんでいました。興味関心が同じ仲間との時間は特別で、上級生との関わりの中から学ぶことも多かったようです。(中)
- ・縦割り活動がとても効果的で、あたたかい人間関係づくりに繋がっていると感じている。(高)
- ・通学路で下学年の子と一緒に歩いている姿を見ると学年関係なく交流できているのが感じられました。その反面、同学年同士だと仲がよいが故に言葉が荒くなってしまう場面がある印象があります。(高)
- ・他学年との関わりが多く、そこから学べることがたくさんあり、よいと感じる。(高)

<その他>

- ・社会に出て、人を敬う気持ち、接し方は最も重要になってくると思う。自身だけでなく、取り巻く環境(学校全体)から意識付けを行う取組は、今後も継続していただきたい。(中)
- ・挨拶運動やほかほか言葉の取組については、日々の子供の行動に出やすく成長を感じやすい部分であることからよい取組だと思う。学校での取組が家庭でも根付くよい機会であり、今後も継続してほしいと思う。(高)

【知】かしこく 分かる授業づくり

＜授業づくり＞

- ・学校では、子供たちのスピードに合わせて授業を進めてくださっているのが伝わります。習ったことを忘れないよう、引き続き家庭学習に向き合っていきたいと思います。(低)
- ・学習参観で飽きないように途中で休憩を入れるなど、動いてよい時間があり、子供が楽しんで授業をしている姿を見て安心した。(低)
- ・分からないことがあっても、恥ずかしい気持ちがあるのか聞けないことがあるので、少しずつ改善していければと思います。(低)
- ・学校コンサートでは、聴く機会の少ない楽器の音を間近で鑑賞できて喜んでいました。よい体験をありがとうございました。(中)
- ・お互いに助け合って、得意不得意を教え合っているように思う。(中)
- ・漢字スキルの直しで間違っている部分を、分かりやすく書いて教えてくださりありがたいです。(中)
- ・工夫して授業づくりをしていただき感謝している。(高)
- ・「授業は楽しい」と話しています。テストの点数が上がることに喜びを感じ、目標を決めて取り組んでいます。(高)
- ・授業に分かりやすい動画等が取り入れられており、工夫されていて理解しやすいと思いました。(高)
- ・今の世代にあったタブレットを使った授業に、子供たちもやる気が見えていいなあと思いました。(高)

＜タブレットの活用＞

- ・学習でタブレットをもっと使えたらよいと思います。(低)
- ・タブレットの活用に関しては、今の世の中では欠かせないPCやモバイル端末の操作に親しむ意味では必要と思うが、対人での関わりが希薄にならないか心配。授業でグループワーク等を行い、チームでの達成感創出等も取り入れていただきたい。(中)
- ・週末のみタブレットを持ち帰り学習するという形はとてもよいと思います。(高)
- ・タブレットの使用、世代に沿った教育や昔から継承されているがんばり週間は、その週だけでも全員参加で取り組み、家の人からのコメント記入においては、家族で結果を共有し会話、アドバイスもできるよい機会です。今後も時代に合わせた教育やよき習慣を継続していったほしいと思います。(高)
- ・タブレット学習で学力が低下すると見たので心配です。(高)
- ・タブレットを活用して学習ができています。継続して実施したいです。(高)
- ・定期的にタブレットでの課題があることで、タブレットの扱いにも慣れてきているように感じよいことだと思います。(高)

＜自学ノート＞

- ・自学ノート達成への意欲が友達との競争心から増えてきている。(低)
- ・自学ノートを自主的に取り組むようになりました。親がモチベーションを上げるのはもちろんですが、学校内、先生からの言葉かけや対応（今回は自学ノートの貼り出し）等でかなり変わったと感じています。(低)
- ・自学ノートやテストの先生のコメントが嬉しいと言って、励みにしています。また、音読カードにシールを貼るので、音読や九九の練習を進んでやるようになりました。(低)
- ・自学ノートの活用による自発的な学習習慣については、やる気、達成感の創出に非常に有効と思う。(中)
- ・自学ノートを頑張っています。(中)
- ・毎日コツコツ自学ノートを頑張っており、学習習慣がしっかり身に付いている。(高)
- ・自主的に勉強する時間が増えている。(高)

【体】たくましく 心身の健康づくり

<メディアとの付き合い方>

- ・メディアコントロールについての講演等があって、とても参考になりました。(低)
- ・教養講座等でメディアについて意識する機会を設けてくださり、本人も意識するきっかけになった。(低)
- ・現代の子供たちの間では、メディアコントロールが最重要課題と思う。専門講師の講習(集会)等を取り入れ、子供たちへの意識付けを強くしていただきたい。(中)
- ・晴れの日を外で体を動かして、メディアの時間をできるだけ減らし、心身共に健康的な生活をしていきたいです。(低)
- ・身体を動かすことが好きになり、ゲームやテレビの時間に頼り過ぎずに充実した時間の使い方ができているように感じる。(中)
- ・メディアコントロールがうまくいかず、特に休みの日は守れないことが多い。(低)(中)(高)
- ・メディアコントロールについて、特に休日は親が終わりの時間を言わないと守れません。自分で時計を見て、時間を守ることができるまで、声かけしていく必要があると感じています。(低)
- ・がんばり週間以外は、メディアの約束を守ろうという意識が薄れてきたような気がします。ルールを見直し、声かけしながら見守りたいと思います。(低)
- ・寒い季節はとくにメディアの時間が長くなりがちなので、もう少し家族で工夫していきたい。(中)(高)
- ・メディアコントロールをどのようにしたらよいか(特に時間)悩んでいる。(中)(高)

<保健指導>

- ・季節ごとの感染症対策について、プリントが出たりしてとても参考になりました。(低)
- ・日頃から感染症対策がされており、子供たちも予防レベルが高いと思う。(高)
- ・規則正しい生活習慣の大切さを、日頃から指導してくださっているおかげで、意識して行動できているように感じます。(中)
- ・メディアの日等、学校でも健康に注力しよい機会だと思います。継続して行ってほしい。(高)
- ・インフルエンザ等感染症対策に関して、もっと情報があってもよいと思う。各自で気を付けてはいるが拡大しないようにもっと対策をやってもよいと思う。(高)
- ・感染症対策では、マスク着用や手洗いのほかに、うがいをする時間(給食前や大休憩、昼休憩後等)があるとよいと思う。(高)

<体力づくり>

- ・意欲的に取り組んでいると思います。大休憩では友達とよく体を動かしている。(低)
- ・みんなで体を動かして遊ぶことが好きなようです。これからも学年問わず交流できればよいと思います。(低)
- ・わんぱくタイムで上学年と遊ぶことを楽しんでいて嬉しい。家ではほとんど運動をしないので、学校で体を動かしてくれて助かっている。(低)
- ・休み時間に身体を動かして学年関係なく遊んでいると聞き、縦のつながりもしっかりとしているんだな、最高学年として下級生の面倒もしっかりとみているんだなと成長を感じました。(高)
- ・学校の休み時間は、外で遊んでいると聞いて、家ではほとんど運動しないので安心している。(中)
- ・大休憩や昼休みに鬼ごっこ等、友だちと一緒に体を動かす遊びを楽しんでおり、心身の健康づくりに役立っていると感じます。縄跳びやフレンド集会が楽しいと家庭でよく話します。(低)
- ・学校で縄跳び等、家ではできないことを実施し、体力をつける機会となっているのでありがたい。(中)
- ・体育委員会主催の大会に向けて縄跳びを頑張っている。他学年の友達にも縄跳びのコツを教えるなど、縄跳びを通した関わりが見られてとてもよいと思う。(高)
- ・30年前 20年前 10年前と比べて、子供たちの運動量が減ってきているような気がします。持久力や柔軟性等鍛えてもらえたらいいなと感じます。(高)

その他

- ・毎朝横断歩道前で、地域の方に見守っていただき感謝しています。(低)
- ・いつも温かい声かけをしていただいているので、学校に楽しそうに通っています。(低)
- ・困りごとに対して、先生が親身になり関わってくださっているので助かっています。(低)
- ・いつも温かく見守ってくださり、ありがとうございます。気になることや家庭での様子等、相談しやすいようにお声がけいただき助かりました。(中)
- ・欠席した日は、子供の様子を気にかけてこまめに連絡をくださりありがとうございます。(中)
- ・いつも、学校や先生方にはこまめな連絡や親身に対応をしていただき、感謝しています。(高)
- ・連絡帳で質問すると、返答がしっかりと返ってきます。教頭先生はじめ担任の先生も話しやすい方々で温かく対応してくださっています。(高)
- ・町探検で黒部宇奈月温泉駅の見学に行ったことが新鮮だったようです。新幹線について学んだことや感想を家庭で話してくれました。貴重な経験になったと思います。(低)
- ・コロナ禍が明け交流が増えてきていると思う。(中)
- ・スキー学習について、たった1回のために道具を用意しなければいけない。お金もかなりかかるし親の負担もかかる。やる必要があるのか？サポートスタッフ募集して集まらず何度も募集かけるくらいならやめてしまえばいい。(中)
- ・スキー学習会は指導者がなかなかいないと思うので無理にしなくてもいいと思います。また、対象は4年生からではなく5年生からでもよいのでは。それだと必要な指導者数も少しは減るので。(高)
- ・熊の出没が多く、ハラハラと不安な時期が続いたが、学校での安全メールや熊鈴など呼び掛けや対応がとてもよかったと思います。今後も地域と連携して子供たちが安心して学校に通えるように協力を継続してお願いしたいです。(高)



☆2月の主な行事予定☆

2日(月) 委員会活動	16日(月) 職員会議のため全校5限まで
学校集金日	17日(火) 職員研修会のため全校5限まで
4日(水) ラジオ・ミュージー	避難訓練(不審者対応)
「ぼくの夢・わたしの夢」収録(6年)	18日(水) 薬物乱用防止教室(5・6年)
5日(木) 全校5限まで	
6日(金) 学習参観	
学級・学年懇談会	24日(火) 委員会活動(最終)
	1～4年は5限まで
12日(木) ふるさとキャリア教育(6年)	27日(金) 第3回学校運営協議会
13日(金) スキー学習会(4～6年)	6年生を送る会
4～6年下校16:10	13:05～14:20(体育館)
スマイルスマイル集会(1～3年)	1～3年下校14:40
1～3年下校14:30	4～6年下校15:20
ぽかぽか家族大作戦(～18日)	

※4日(水)、18日(水)、25日(水)は、永田スクールカウンセラーによる教育相談日です。
 2日(月)、16日(月)は、板東スクールソーシャルワーカーによる相談日です。
 希望される方は、教頭または担任までご連絡ください。日時を調整いたします。